

冬季研修講座 ～アイヌ文化講座～

1月10日(水)小樽市立高島小学校の平山裕人氏を講師とし、「学校教育におけるアイヌ文化に関する講座」を実施いたしました。講座には、4市町27名の先生方が参加され、講義や演習を通して研修を深めていきました。



はじめに、胆振地方で確認されているアイヌ文化について話を聞きました。

特に、伊達市の善光寺や有珠地区はアイヌの歴史に大きく関わっている地域であることがわかりました。



最後に、全道の各地でアイヌ文化がどのように扱われているのか紹介していただき、次年度からのカリキュラム・マネジメントに大変参考となる講座となりました。



続けて、副読本「アイヌ民族：歴史と現在」の活用について、授業でどのように扱っていくのか具体的に説明していただきました。



所長挨拶

今年度も残すところあとわずかとなりましたが、日頃より胆振教育研究所の諸事業に対して、ご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、本教育研究所の使命は、胆振管内各小中学校の教育課題に応じた、教育の理論と実践に関する研究を行い、その成果を子どもの指導にあたっている先生方に直接還元し、指導方法の改善や教員の資質向上を図り、胆振の教育の推進に寄与することにあると考えております。

平成29年度も、研究委託校・実践校の全面的な協力をいただきながら、各関係機関との連携を密にして、管内的な視野に立ち、各種事業を実施することができました。ご協力、本当にありがとうございました。

また、今年度は、長期休業中に「特別支援教育の視点から考える支援のあり方」「アイヌ文化講座」の2つの実践講座を開催し、それぞれの講座において研鑽を深めることができました。

今後とも、教育現場の課題やニーズをしっかりと受け止めながら、胆振管内の教育の発展充実に向け、所員一同鋭意努力してまいります。一層のご支援とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

胆振教育研究所長 安宅 錦也

研究紀要(221号・222号・223号)

が発刊されました!

研究紀要
221号



研究委託校・実践校の研究 社会教育の実践

平成29年度胆振教育研究所の研究委託校・実践校の研究概要並びに社会教育の実践をまとめたものを掲載しています。

各校の児童生徒の実態や今日の課題を踏まえた研究となっております。私ども研究所員も共同研究員の立場で校内研修会・公開研究会に参加させていただきました。

先生方には、本研究紀要の各研究委託校・実践校の研究内容を参考にされ、自校の研修に役立てていただければ幸いです。

研究紀要
222号



調査課題研究

カリキュラム・マネジメントについてのアンケート
～アンケート結果の報告と考察～

次期学習指導要領改訂のポイントの1つである「カリキュラム・マネジメント」を調査課題に設定し、各学校の教育課程の編成、評価や改善における実態と現在の課題などを調査し、その結果を研究のまとめとして還元することとしました。

本調査研究では、「教育課程の編成や評価・改善」と「学校内外の人的・物的資源の活用」の現状の他、「カリキュラム・マネジメントについての課題」等についてアンケート調査しました。研究紀要222号で、これらについて詳しくまとめましたので、自校におけるカリキュラム・マネジメントの要素を取り入れた教育課程の編成に役立てていただければと思います。

研究紀要
223号



教育理論に関する研究活動

子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実
～道徳科を要とした取組を通して～

本教育研究所では、平成27年度より「子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実」を主題に掲げ、教育理論に関する研究活動を進めてきました。

研究の最終年次となる今年度は、道徳教育全体に関わる要点の整理を行い、また、3年間のまとめとして、成果を上げている各学校の実践例を多く紹介させていただく形としました。

児童生徒の道徳性を高めるための取組やよりよい道徳教育の推進のために、教育現場ですぐに活用できる情報を提供したいと考え、まとめました。本研究紀要を、指導の改善に生かすための一助としていただければ幸いです。